

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年11月30日(2017.11.30)

【公開番号】特開2016-82474(P2016-82474A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2014-213646(P2014-213646)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/93 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/93 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月16日(2017.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のマイクロレンズのそれぞれに割り当てられた複数の画素からなる単位画素を含む  
撮像素子からの信号に基づいて、画像データを生成する画像データ生成手段と、

前記画像データにおける前記単位画素から読み出された所定領域のデータに基づいて、  
動画再生のためのフレーム画像を生成するフレーム画像生成手段と、

前記フレーム画像生成手段において、動画の再生に係る再生モードに応じて、前記単位  
画素における読み出し領域を変更する変更手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項2】

前記再生モードは、通常再生モード及びサーチ再生モードを含み、

前記サーチ再生モードにおける動画再生速度は、前記通常再生モードにおける動画再生  
速度よりも高速であることを特徴とする請求項1に記載の画像処理装置。

【請求項3】

前記再生モードが前記サーチ再生モードである場合、前記フレーム画像生成手段は、前  
記単位画素において前記マイクロレンズの周縁部に対応する画素のデータの読み出しを制限  
することを特徴とする、請求項2に記載の画像処理装置。

【請求項4】

前記再生モードが前記サーチ再生モードである場合、前記フレーム画像生成手段は、時間軸で近接する複数のフレームの画像データを加算することにより前記フレーム画像を生  
成することを特徴とする請求項2または3に記載の画像処理装置。

【請求項5】

前記再生モードが前記サーチ再生モードである場合、前記フレーム画像生成手段は、所  
定のフレーム数ごとにフレーム画像を生成することを特徴とする、請求項2乃至4のいす  
れか1項に記載の画像処理装置。

【請求項6】

複数のマイクロレンズのそれぞれに割り当てられた複数の画素からなる単位画素を含む  
撮像素子からの信号に基づいて、画像データを生成する画像データ生成ステップと、

前記画像データにおける前記単位画素から読み出された所定領域のデータに基づいて、  
動画再生のためのフレーム画像を生成するフレーム画像生成ステップと、

前記フレーム画像生成ステップにおいて、動画の再生に係る再生モードに応じて、前記  
単位画素における読み出し領域を変更する変更ステップと、  
を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 7】

動画を再生する画像処理装置のコンピュータに実行させるプログラムであって、  
複数のマイクロレンズのそれぞれに割り当てられた複数の画素からなる単位画素を含む  
撮像素子からの信号に基づいて、画像データを生成する画像データ生成手段、

前記画像データにおける前記単位画素から読み出された所定領域のデータに基づいて、  
動画再生のためのフレーム画像を生成するフレーム画像生成手段、

前記フレーム画像生成手段において、動画の再生に係る再生モードに応じて、前記単位  
画素における読み出し領域を変更する変更手段、  
として機能させるためのプログラム。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のプログラムを記憶したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。